

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

インフルエンザの報告が依然増加-7つの都道府県で定点当たり報告数が50を超える



注目すべき感染症
P.4

インフルエンザ-2000年第4週(1月24日～1月30日)現在、全国定点医療機関からの定点当たり報告患者数は34.5と、依然上昇中である



病原体情報
P.5

インフルエンザ-A/ソ連型とA/香港型はほぼ半々の割合で分離 / 感染性胃腸炎-2000年に入り一部地域からSRSVおよびロタウイルスの検出報告



IASRからの速報
P.6-7

広島県におけるB型インフルエンザウイルスの分離例 / 小学校で発生した小型球形ウイルスによる嘔吐下痢症



海外感染症情報
P.8

インフルエンザ世界流行状況-続報 / スコットランドにおける髄膜炎菌感染症の増加 / 南アフリカ(Eastern Cape)の農夫がクリミア・コンゴ出血熱に罹患



感染症の話
P.9-10

Q熱
1937年にオーストラリアの食肉処理場の従業員ではじめて報告され、家畜、愛玩動物などの出産に関連する事例が多い



読者のコーナー
P.11



グラフ総覧(4週)
P.12-18



4週のデータ
P.19-26



発生動向総覧

第4週コメント 2月4日集計分

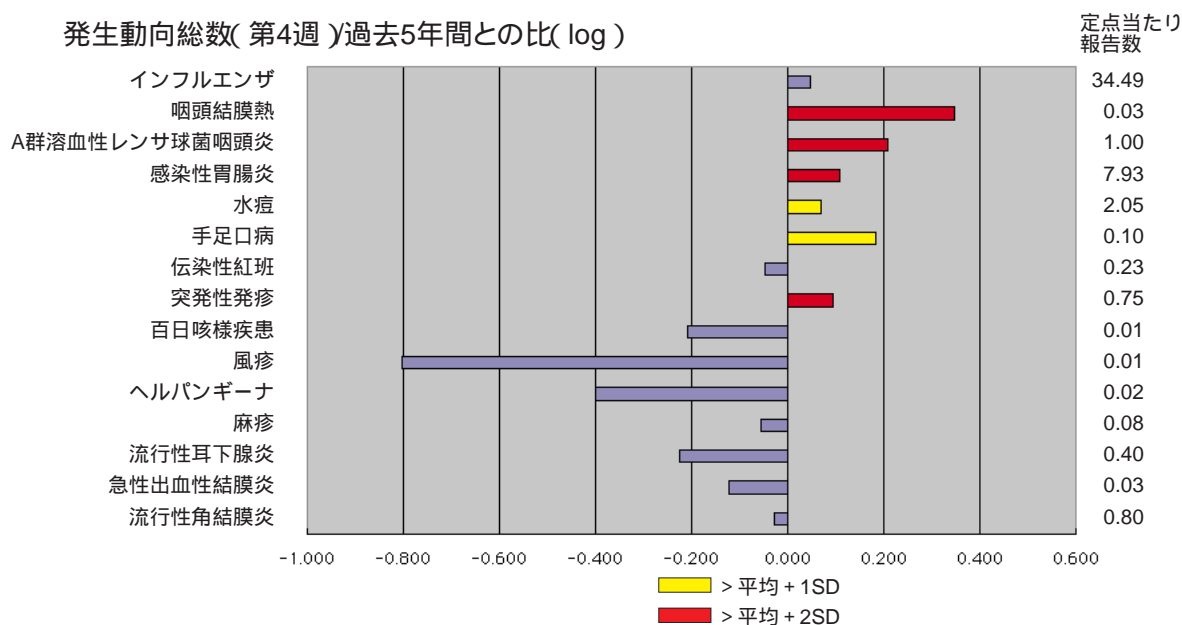
全数報告の感染症

- 1類感染症の報告はない。
- 2類感染症: コレラ1例(推定感染地: ミャンマー)
細菌性赤痢6例(推定感染地: 日本国内1例、マレーシアまたはシンガポール2例、ベトナム1例、インドネシア1例、ペルー1例)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症は16例報告されている。
- 4類感染症: アメーバ赤痢2例
 - 急性ウイルス性肝炎13例
 - A型9例_すべて国内感染例
 - B型2例_ともに性行為感染
 - C型1例_針刺し事故
 - 不明1例
 - 後天性免疫不全症候群3例、ジアルジア症2例、ツツガムシ病5例、梅毒8例、破傷風1例
 - マラリア2例
 - 熱帯熱マラリア1例(推定感染地: ケニア)
 - 不明1例
 - レジオネラ症2例

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

インフルエンザの報告が依然増加しており、定点当たり報告数が50を超えた都道府県が7県ある。特に、東海・北陸ブロックとその周辺地域からの報告が多くなっている。患者の年齢階級別で見ると9歳以下が全体の約60%を占めている(インフルエンザ流行についての詳細な解説と分離ウイルスについては4ページインフルエンザ流行情報参照)。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の定点当たり報告数が、例年の同時期より多くなっている。水痘は宮崎県で定点当たり報告数5.1、佐賀県で4.2の報告がある。非流行期の咽頭結膜熱と手足口病の定点当たり報告数が例年より多い。

発生動向総数(第4週)過去5年間との比(log)

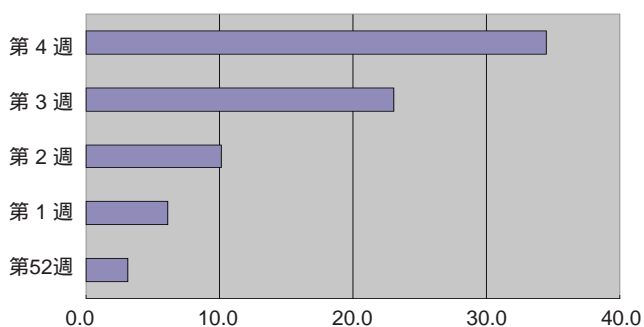


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

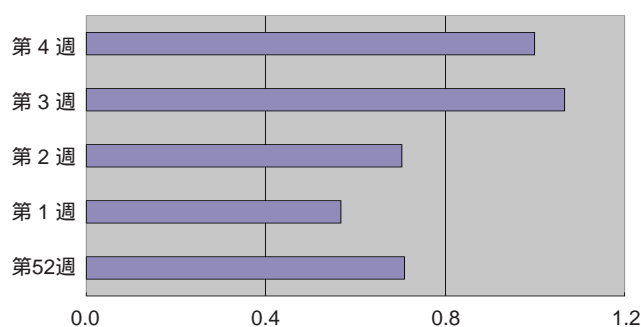
最近の注目疾患-5週間の動き

インフルエンザ患者の定点当たり報告数は急増中であり、前週の定点当たり報告数は23.1、今週は34.5となっている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎の定点当たり報告数に大きな動きはない。水痘はここ3週ほど定点当たり報告数が、前週を下回っている。麻疹患者は徐々に増加傾向を示しており、例年春にかけ流行曲線が上昇するので、今後も疾患の動向に注意が必要である。

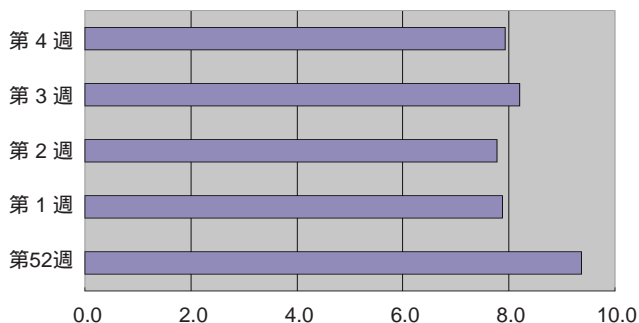
インフルエンザ



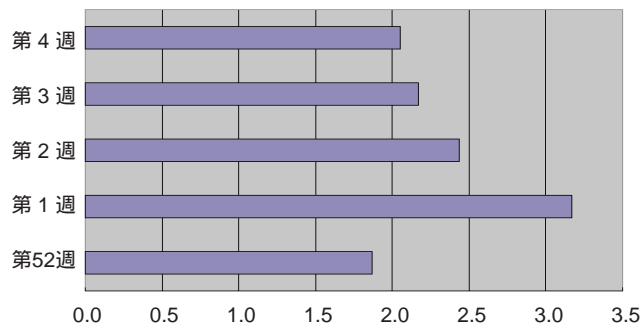
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



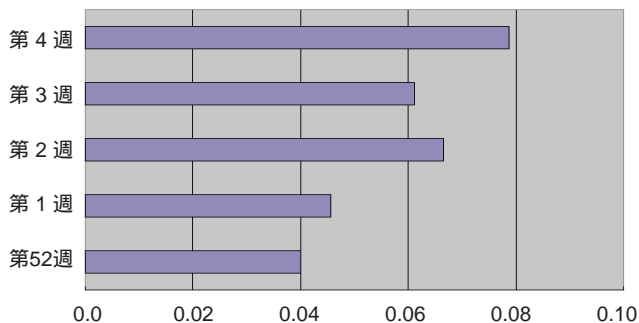
感染性胃腸炎



水痘



麻疹



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



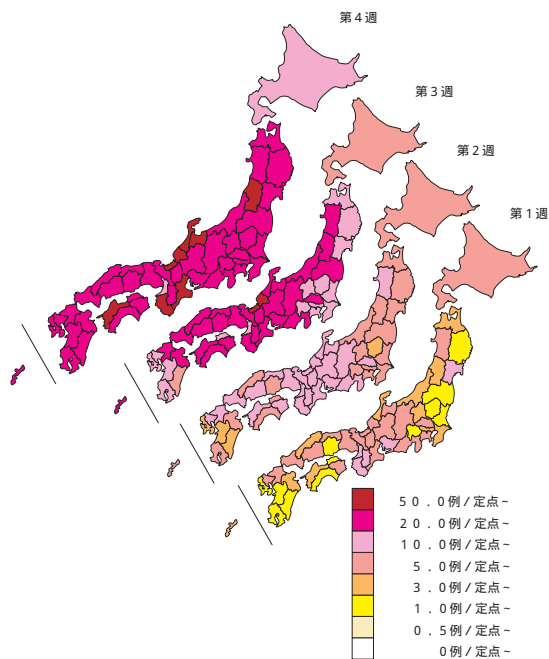
注目すべき感染症

インフルエンザ流行状況

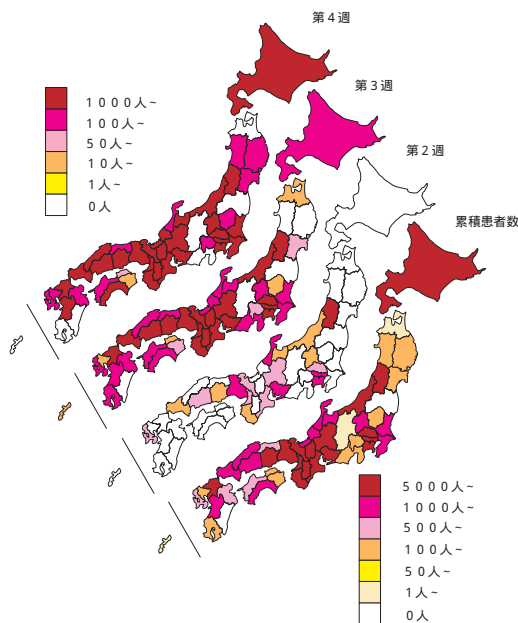
2000年第4週(1月24日 ~ 1月30日)現在、全国定点医療機関からの報告患者総数は155,932件で、定点当たり34.5と、前週の1.5倍程度であり、依然患者報告数は上昇中である。都道府県別では、以下の地図グラフで見られるように、ほとんどの都道府県で、平均の定点当たり報告数が20を超えており、すべての都道府県で患者報告数は増加している。ウイルスの型は、ほとんどの都道府県にて、A/ソ連型とA/香港型が混合して分離されており、全国的に、A/香港型とA/ソ連型の混合流行の様相を呈している。

学校からの報告では、患者数は全国的に増加しており、インフルエンザ様疾患発生報告(第11報、平成12年1月23日 ~ 1月29日)によると、この週の患者数は130,245名、欠席者数は70,736名と先週に引き続き大きく増加した。総患者数は平成11年11月7日からの累計で211,847人(昨年同期117,243人)、総欠席者数は累計で116,896人(昨年同期59,157人)となっており、今シーズンは98-99シーズンに比較して学校での流行は大きいと考えられる。学校の欠席者が報告されている45都道府県のうち、A/ソ連型のみでの分離報告のあるのは13府県、A/香港型のみでの報告が4道県、両方の分離報告が9都県で、インフルエンザウイルス分離報告がないところは19府県である。

発生動向調査
(4週時点)



インフルエンザ様疾患発生報告
(学級閉鎖に伴う患者調査)



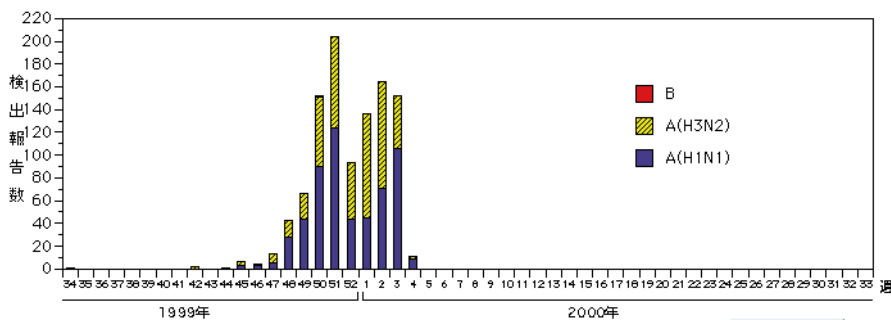


病原体情報

インフルエンザ

2月3日までに病原微生物検出情報事務局に入ったインフルエンザ分離報告をまとめると、2000年第1週から第4週までに分離されたA/香港型ウイルス(H3N2)は244、A/ソ連型ウイルス(H1N1)は262、B型は2であり、香港型とソ連型ほぼ半々の割合で分離されている。患者の定点当たり報告数が70.1の福井県、55.8の石川県、59.1の愛媛県からもソ連型と香港型の両方の分離報告がある。これまでのところ分離報告数ではA/ソ連型がやや優勢であったが、ここへ来てA/香港型の分離件数が増加中である。

週別インフルエンザウイルス分離報告数、1999/2000シーズン (病原微生物検出情報：2000年2月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。

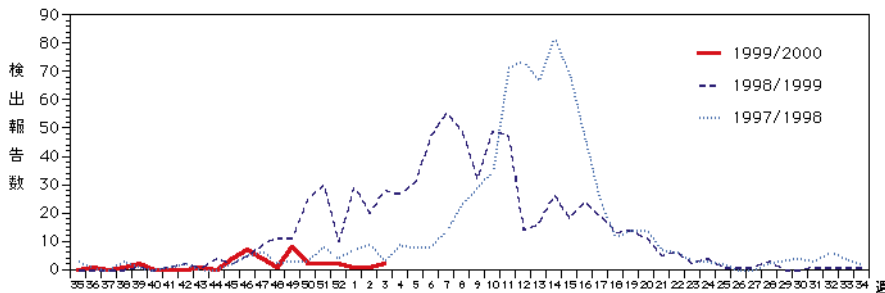


Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎

2000年に入り新潟県、大阪府、北九州市、山梨県からSRSVの検出報告がある。ロタウイルスの検出報告は今シーズンは低めに推移しており、2000年に入ってわずかに岩手県、大阪府から1件ずつ、新潟県から2件の検出報告があった。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000) (病原微生物検出情報：2000年2月3日現在報告数)

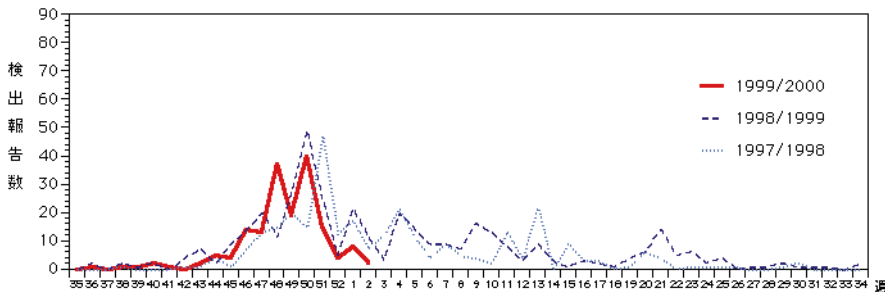


各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較 (1997/1998、1998/1999、1999/2000) (病原微生物検出情報：2000年2月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

今シーズン(1999/2000)に分離されたB型インフルエンザウイルス - 広島県

今シーズンのインフルエンザB型ウイルスは、これまでのところ福岡市で1999年12月13日に10歳の小児から分離された1事例が報告されているにすぎない。

今回、広島県内においても1999年12月8日にインフルエンザ様患者から採取した咽頭ぬぐい液からB型ウイルスが1株分離されたので報告する。

患者は広島県内に在住の1歳男児。症状は38℃の発熱、上気道炎、嘔吐、下痢であった。

患者の咽頭ぬぐい液について、PCR法にてB型インフルエンザウイルスのNS geneに特異的なプライマー・ペアを用いた場合に遺伝子断片の増幅が認められ、MDCK細胞によってモルモット赤血球とニワトリ赤血球に対して凝集性のあるウイルスが分離された。これについて国立感染症研究所・呼吸器系ウイルス室から分与された1999/2000シーズン用のインフルエンザ抗血清キットを用いてHI試験を行ったところ、Aソ連(H1N1)型ウイルス、A香港(H3N2)型ウイルスおよび2種類のB型ウイルスの、いずれの抗血清も<1:10のHI価であった。そこで、1997/1998シーズンおよび1998/1999シーズン用の抗血清を用いてHI試験を実施したところ、抗B/三重/1/93血清は1:10、抗B/Harbin/07/94血清は1:40のHI価を示した。

わが国においては、ここ数年、B/山形/18/88系統のウイルスとB/Victoria/2/87系統のウイルスが流行しており、前者はB/Harbin/07/94ウイルスを経て、B/山梨/166/98ウイルスに至っていると説明されている(病原微生物検出情報 Vol.20 No.12 1999)。

今回我々が分離したウイルスは、B/Harbin/07/94ウイルスの系統ではあるが、B/山梨/166/98ウイルスとは抗原性の異なるB型ウイルスであると考えられる。

なお、広島県におけるB型ウイルスの分離例はこの1例のみで、当該患者と同じ時期に同じ地域で採取された、他のインフルエンザ様患者からもB型ウイルスは分離されていない。

広島県保健環境センター

高尾信一 島津幸枝 福田伸治 野田雅博 徳本静代

厚生連吉田総合病院

藤田篤史 駒沢 徹

(詳細は病原微生物検出情報2月号(IASR Vol.21 No.2)に掲載予定)

小学校で発生した小型球形ウイルスによる嘔吐下痢症 - 神奈川県

1999(平成11)年12月2日、県内のS小学校において、全校児童567名中146名の欠席があり、そのうち104名は嘔吐を呈していた。そこでインフルエンザ等の流行性疾患を疑い、咽頭うがい液、血液、糞便の採取が行われた。

咽頭うがい液は、RD-18S、HeLa、Vero、HEp-2、MDCK、CaCo-2細胞を用いてウイルス分

離を行ったがウイルスは分離されなかった。またこの材料からエンテロウイルス、インフルエンザウイルス、RSウイルスのPCRを行ったがすべて陰性であった。

採取できた2検体の糞便を用いて電子顕微鏡(EM)で検査したところ、この糞便からEMでSRSV粒子が検出された。さらにプライマーに35/36、NV81/82/SM82を用いてPCRを行ったところ、1st PCRにおいて、両方のプライマーで目的の位置に遺伝子の増幅が認められた。そこで国立公衆衛生院より配布されたプローブを用いてプレートハイブリダイゼーションを行った結果、ノーワーク様ウイルス(NLV)genogroup (G)であった。

採取できた21検体のペア血清でNLV(リコンビナント抗原)に対する抗体をELISAで測定したところ、18検体についてG抗原(r47、r76、r104、r7K)に対して抗体の有意上昇が確認された。またインフルエンザの抗体検査では21名中2名のみA(H1)型に有意上昇を示した。

以上の点から今回の学校における嘔吐下痢症の集団発生事例はNLVによる感染症であることが判明した。

神奈川県衛生研究所ウイルス部

原みゆき 古屋由美子 片山 丘 渡辺寿美 齋藤隆行 今井光信

(詳細は病原微生物検出情報2月号(IASR Vol.21 No.2)に掲載予定)



海外感染症情報

トピックス

[WHO/WER 2000,75,29-36](#)

インフルエンザ - 続報

中国(1/20)...流行は同国北部で12月末から拡大している。B型が数株分離された。

香港(1/14)...流行期の当初より分離ウイルスの多くがA(H3N2)だった。分離ウイルスの10～15%はA(H1N1)で15～20%はB型だった。例年同様ウイルス分離数は1月初めから増加しており、今後さらに増加する見込みである。

ドイツ(1/17)...1月第2週、流行は引き続き拡大した。同国南西部ではさらに流行地域が拡大したが流行規模は中程度である。北東部では1月第1、2週には、引き続き局地的流行レベルにとどまった。分離されたウイルスはA(H3N2)であり、A/Moscow/10/99(H3N2)類似株が数件確認された。

チェコ共和国(1/17)...1月第2週、感染者の急激な増加がみられた。予測を上回る罹患率がMoravia南部を除く同国全土で記録された。分離されたウイルスはA(H3N2)と報告されている。

ベルギー、フランス、ノルウェーでは減少傾向である。

その他報告が記載されている国

フィンランド、ラトビア、イラン-イスラム共和国、イスラエル、クロアチア

詳しくはURL:(原文)<http://www.who.int/wer/pdf/2000/wer7504.pdf>

(翻訳)<http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/promed/japa/flu2.html>

[Eurosurveillance Weekly, 2000年1月27日号](#)

スコットランドにおける髄膜炎菌感染症の増加

スコットランド髄膜炎・肺炎球菌リファレンス研究所の概況データによると、1999年12月に入ってから、患者報告数が予測数を70例ほど上回っており、インフルエンザの流行と同時期に、髄膜炎菌による感染症が顕著に増加していることが確認された。1999年には患者報告数は356例、死亡19例であり、2000年の最初の3週間で53例が報告された。3例の確診死亡例と、3件の疑い死亡例も報告されている。最近の症例の増加は*Neisseria meningitidis* Bによるものである。過去10週間にみられた症例の65%はこのB群の感染によるもので、26%がC群によるものであった。これに対し、昨冬は39%がB群、61%がC群であった。患者は20歳以上の年齢層で顕著な増加を示し、5歳から14歳の年齢層でのみ発症率が低下していた。

[ProMED情報2月3日](#)

南アフリカ(Eastern Cape)の農夫がクリミア・コンゴ出血熱に罹患

Eastern Capeの51歳の農夫1人がクリミア・コンゴ出血熱と診断されている。この感染症の拡大を抑止するための防止策が州内で開始されている。患者は重体で、厳密な隔離状態で治療を受けている。2月3日からは患者と接触のあった人たちが観察下におかれている。



感染症の話

Q 熱

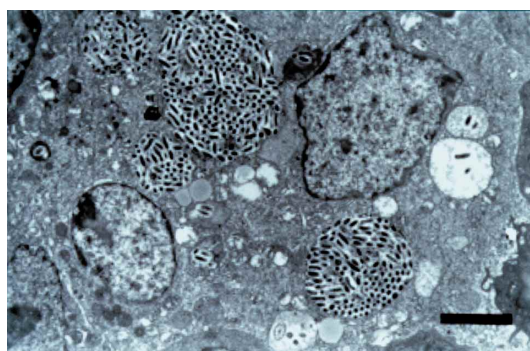
Q熱はリケッチアの一種コクシエラによる疾患である。本疾患は1937年にオーストラリアの食肉処理場の従業員ではじめて報告された。当初は原因不明の熱病(query fever)とされていたことから、“Q”が疾患名となった。本病の集団発生では家畜、愛玩動物などの出産に関連する事例が多いが、散発例の多くは感染源や感染経路が特定できない。

疫学

世界的に発生している疾患で、動物に自然感染がある。多くは無症状であるが、病原体は乳、尿、糞便に排泄される。また、コクシエラは妊娠により活性化し、流・死産などを起こした場合は、胎子や胎盤などとともに大量に排出され周囲を汚染させる。ヒトへの主要な感染経路は病原体に汚染された塵埃の吸入による。畜産食品からもコクシエラが検出されるが、経口感染は稀とされている。野生動物ではダニからの感染も推定されているが、ヒトでは主要な感染経路ではない。ヨーロッパでは牧羊場や屠場近辺での集団感染例が、カナダ、米国では出産時のネコが感染源となった例が報告されている。わが国ではインフルエンザ様疾患や異型肺炎患者から本病原体が検出されており、輸入症例も報告されている。また、血清学的調査によると動物との接触の多い職業の従事者で抗体陽性率が高い。諸外国に比べて感染源が明らかな症例は少ないが、ネコからの感染が推定される症例が報告されている。

病原体

コクシエラ・バーネッティイ(*Coxiella burnetii*)が病原体で、人工培地では増殖出来ない。増殖には小型菌体(small cell variant, SCV)と大型菌体(large cell variant, LCV)の2段階があるが、SCVは細菌の芽胞に似た構造で、熱や乾燥に対して抵抗性があるために外界で長期にわたって生残している。また、本病原体には腸内細菌のS-R変異に似た相変異がみられる。相菌は自然界で検出される強毒型、相菌は発育鶏卵などを用いて長期間継代することによって生じる弱毒型であるが、この相変異は後述する患者血清の抗体測定に重要である。



マウス脾臓中のコクシエラ・バーネッティイ
(静岡県環境衛生科学研究所 長岡宏美博士提供)

臨床症状

急性感染ではインフルエンザ様で突然の高熱、疲労感、悪寒、筋肉痛などで始まるが、半数は無症状である。また、有症例も多くは入院を必要としない。潜伏期間は2から3週間で、発熱期間は5から57日とされるが、多くは14日以内に解熱する。肺炎や肝臓機能障害のほか、心筋炎、脳脊髄炎などがみられることもあるが、予後は一般に良い。一般にQ熱では発疹はないとされているが、患者の5から20%に非特異的な紅斑あるいは丘疹が観察されたという報告もある。慢性感染では心内膜炎や肝炎を起こし死亡率が高くなる。また、急性感染回復後に慢性疲労症候群に類似した症状を呈する症例がある。

病原診断

病原体分離では抗菌剤投与前の血液を免疫抑制剤を投与したマウスに接種する。培養細胞による分離も検討されているが確立されていない。分離はレベル3の実験室で行う。遺伝子診断ではコクシエラ特異蛋白をコードしている遺伝子を検出する。現在いくつかの遺伝子が標的とされているが、感度、特

異性が定まっていない。

血清診断では、相菌に対する抗体は感染早期に出現し長期間持続するが、相菌に対する抗体は後期に出現する。したがって、急性感染の血清診断用抗原には相菌を用いる。慢性感染では相菌に対する抗体価が上昇するが、慢性疲労症候群様患者では相菌に対する抗体価は低いとされている。測定法は、我が国では間接蛍光抗体法が一般に用いられるが、抗体価は諸外国と比べて低い。陽性判定はペア血清で4倍以上の抗体価の上昇があったものとするが、単独血清での判定は困難なことが多い。われわれはIgGで128-256倍、IgMで16倍以上を陽性としているが、IgGで32-64倍以上を陽性とする機関もある。

予防・治療

外国では家畜の出産シーズンに感染が発生することが多く、出産時の動物(愛玩動物も含めて)、特に死・流産などを起こした動物の取扱いは要注意である。流産胎盤などは焼却するとともに、汚染された周辺は1%リゾール、5%過酸化水素水で消毒する。Q熱は動物とくに家畜取扱者の職業病とされており、オーストラリアやスロバキアではワクチンが検討されている。

治療にはテトラサイクリンが用いられるが、長期化した場合はリファンピンなどと併用する。

感染症新法の中でのQ熱の取扱い

Q熱は、第4類の全数届出疾患に定められており、診断した医師は診断から7日以内に保健所に届け出る必要がある。報告のための基準は、以下の通りとなっている。

《 報告のための基準 》

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの。

- ・病原体の検出
例：血液などからの病原体の分離など
- ・病原体の遺伝子の検出
例：PCR法など
- ・病原体に対する抗体の検出
例：間接蛍光抗体(IF)法で抗体が4倍以上の上昇など

(国立感染症研究所 ウイルス一部 萩原 敏且)



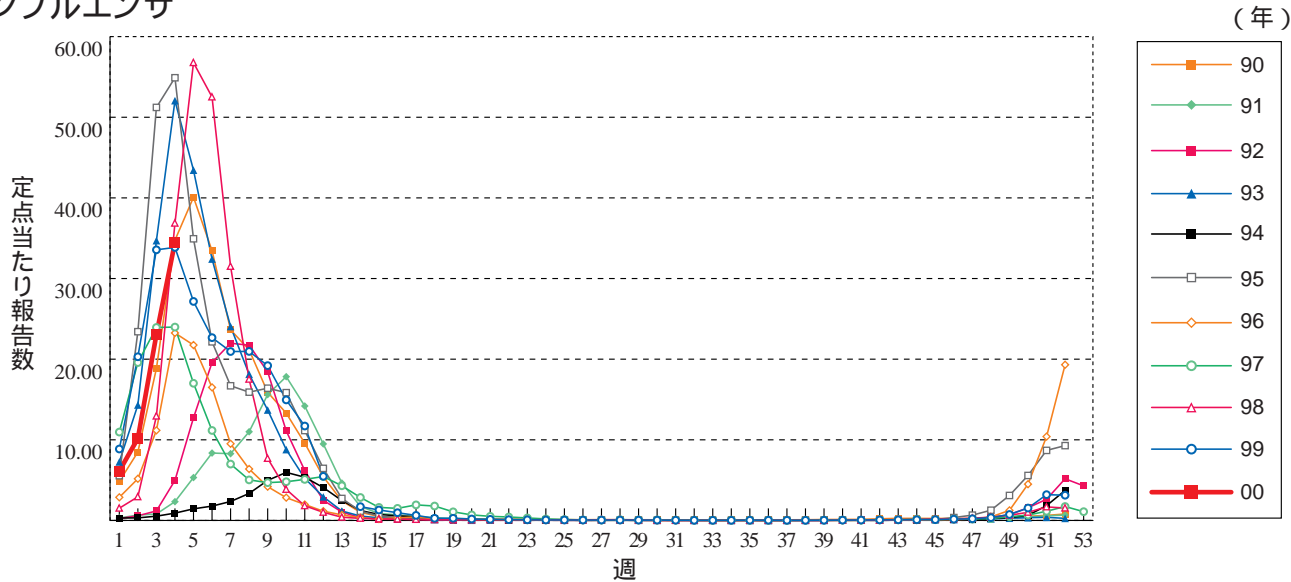
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

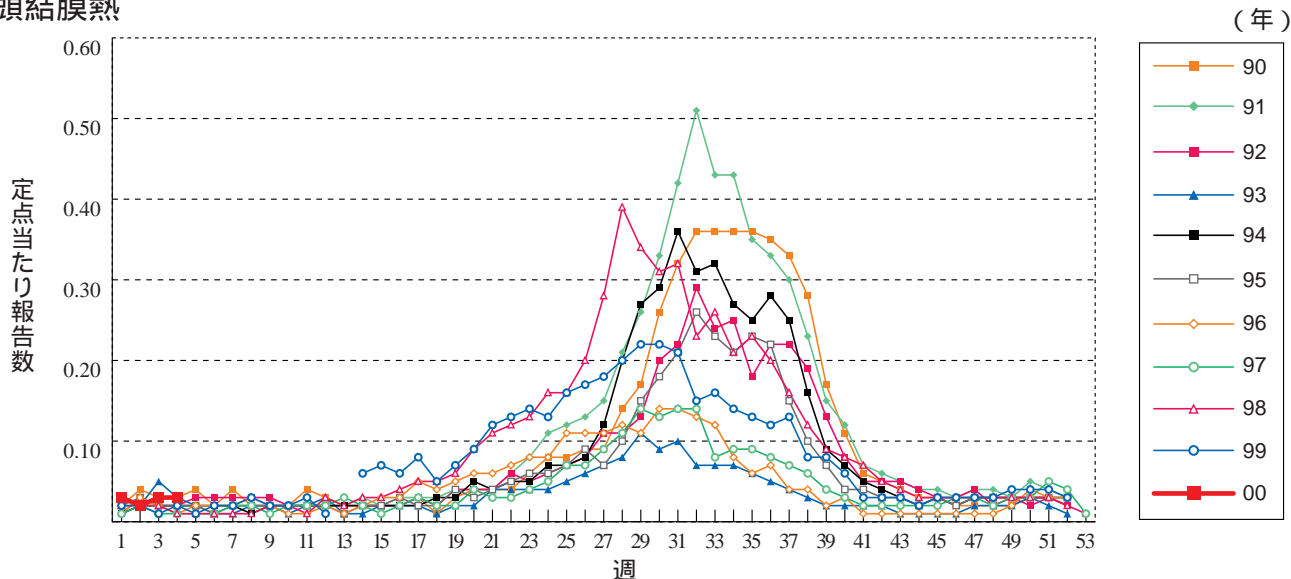
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(4週)

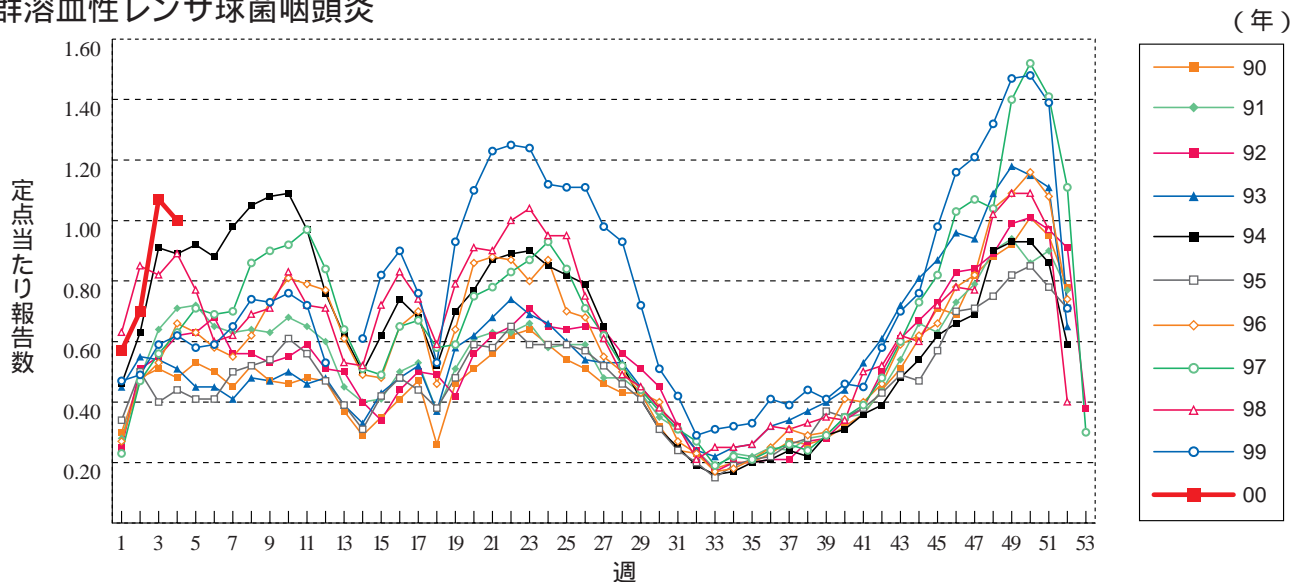
インフルエンザ



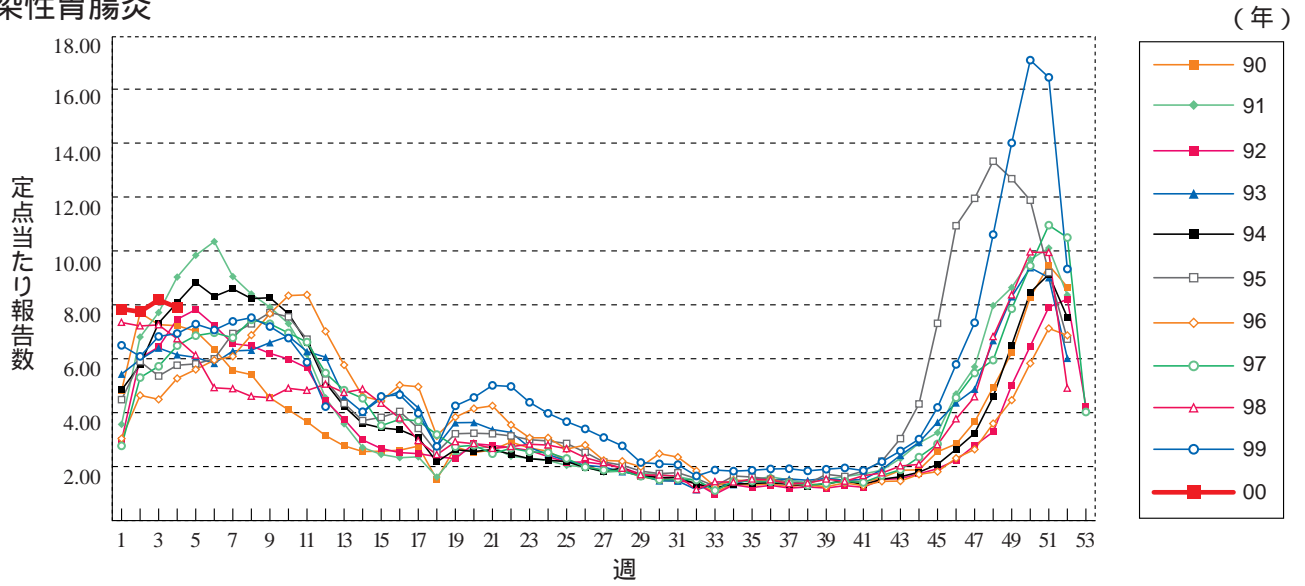
咽頭結膜熱



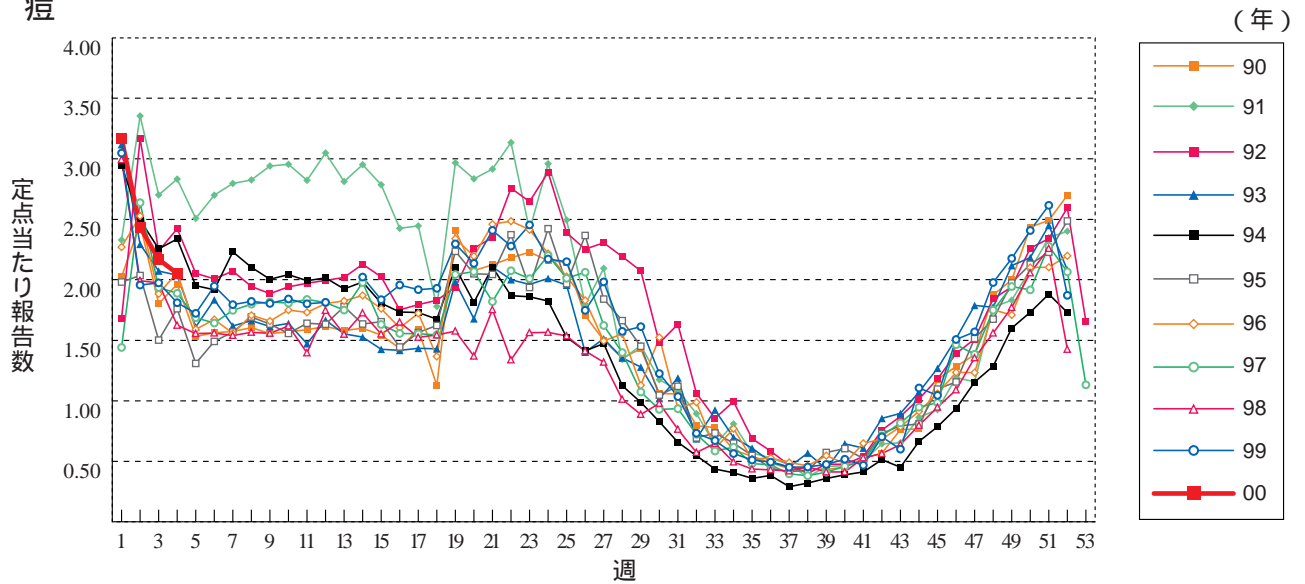
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



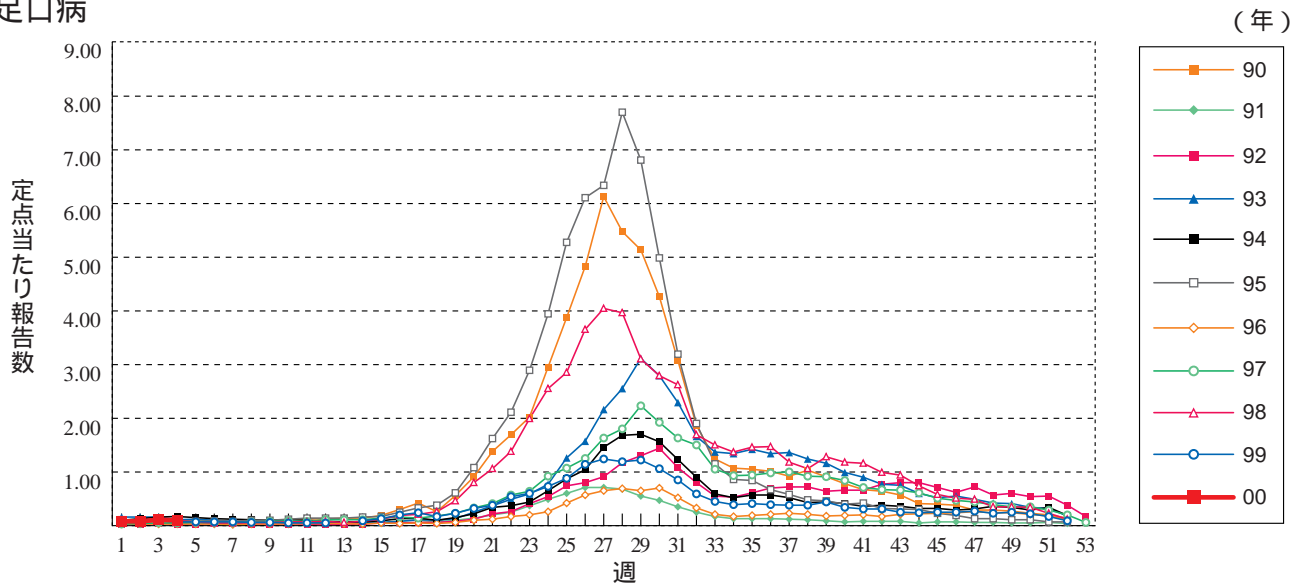
感染性胃腸炎



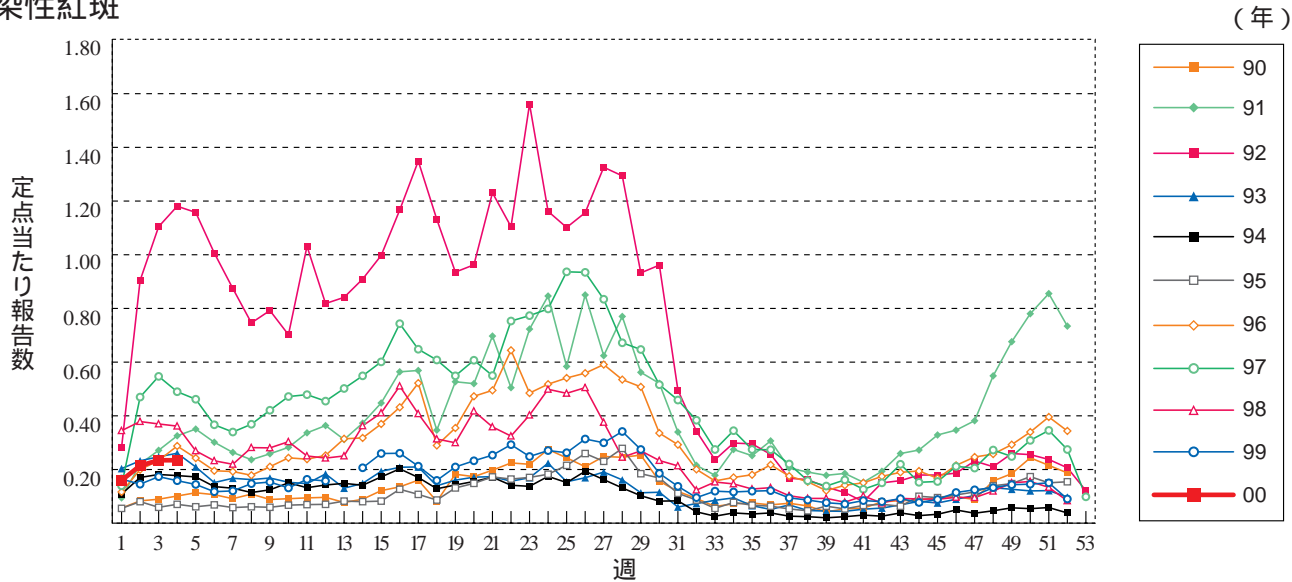
水痘



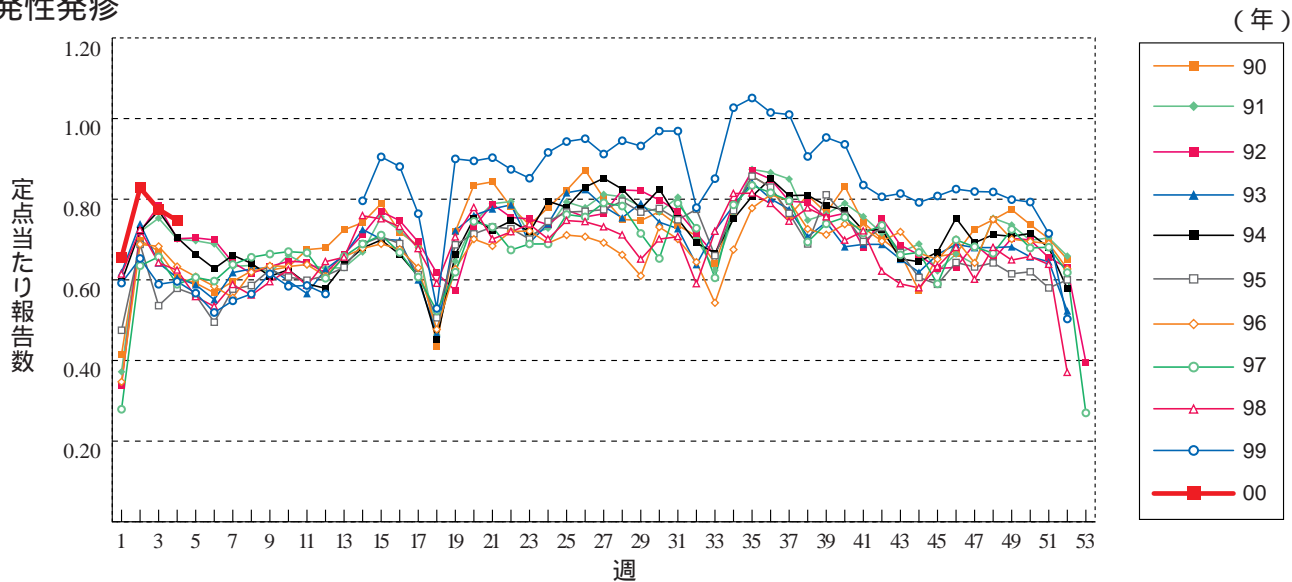
手足口病



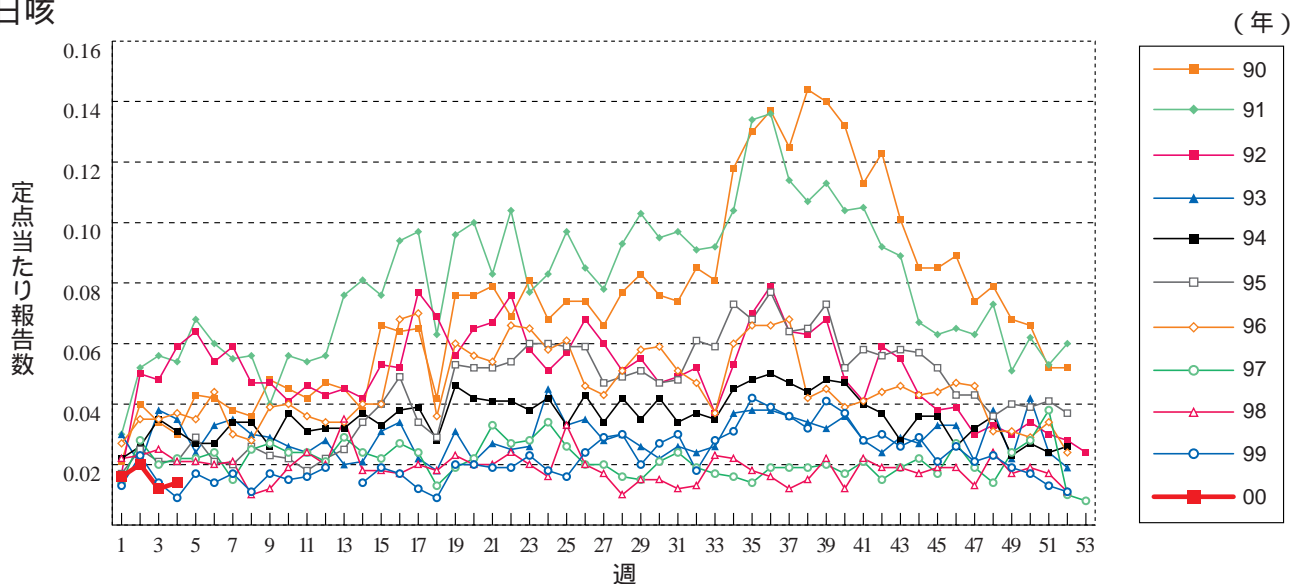
伝染性紅斑



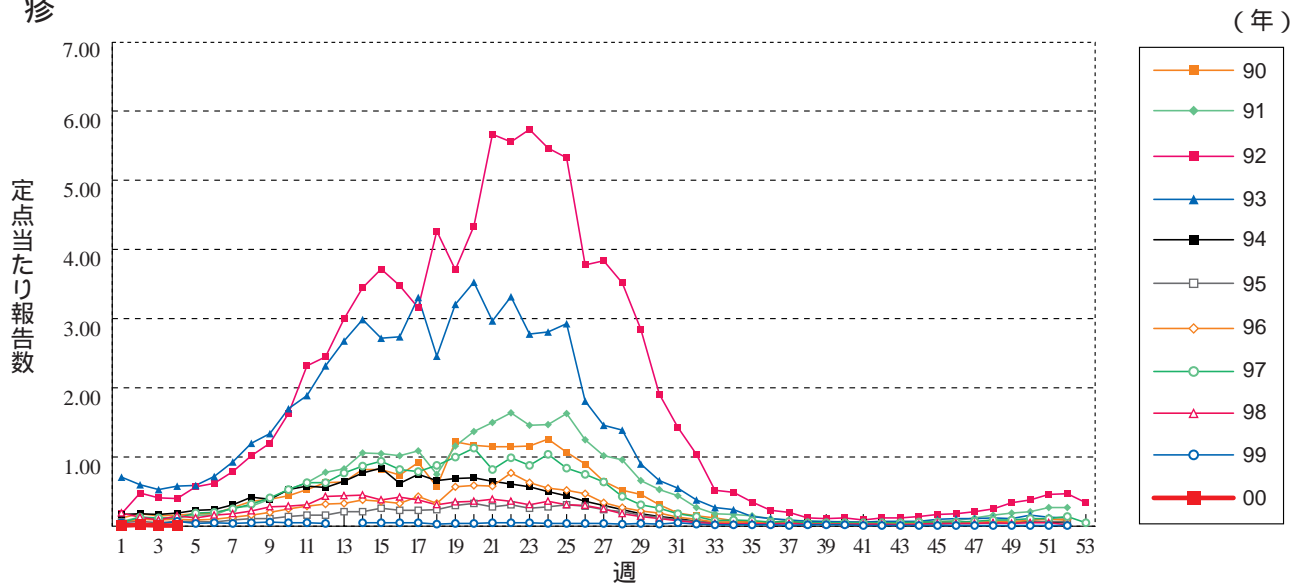
突発性発疹



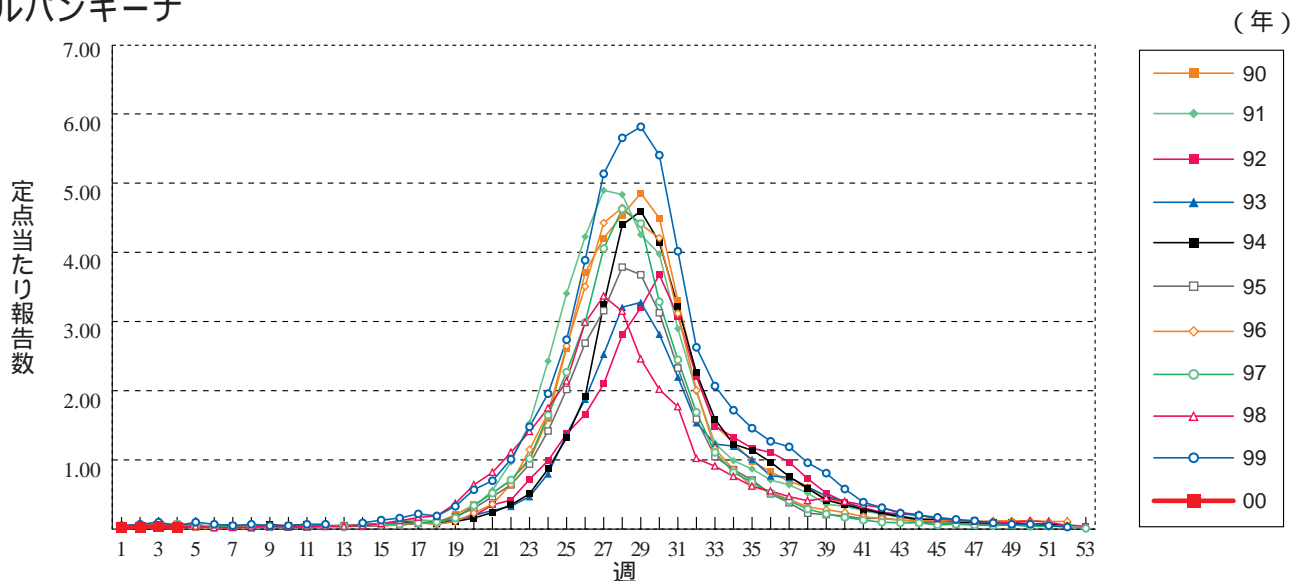
百日咳



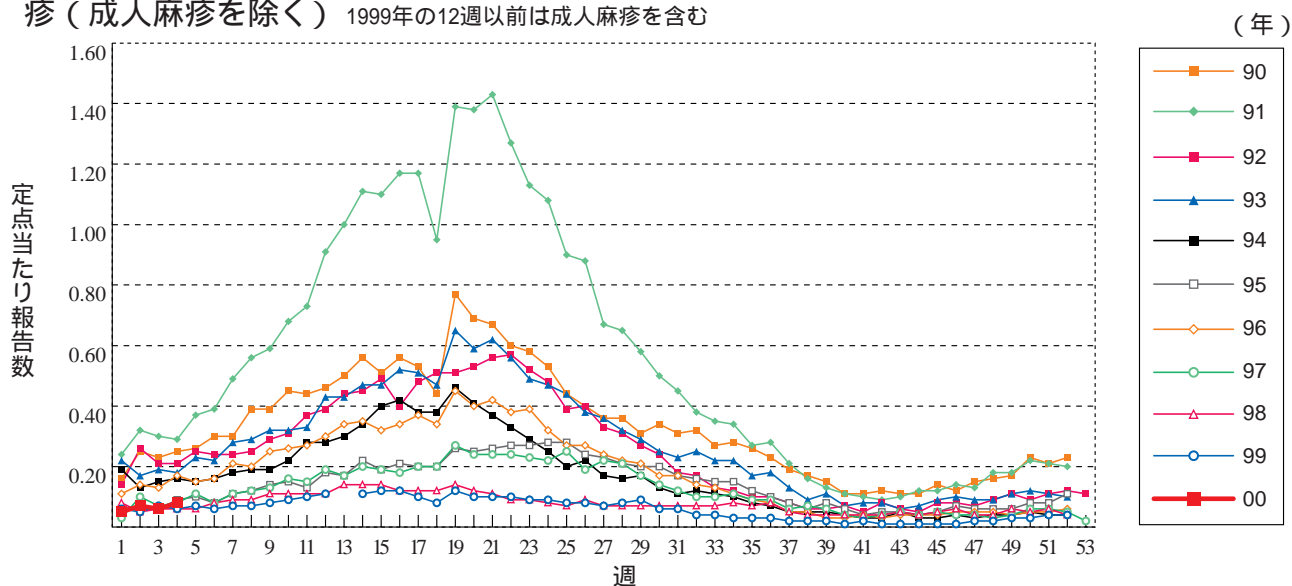
風 疹



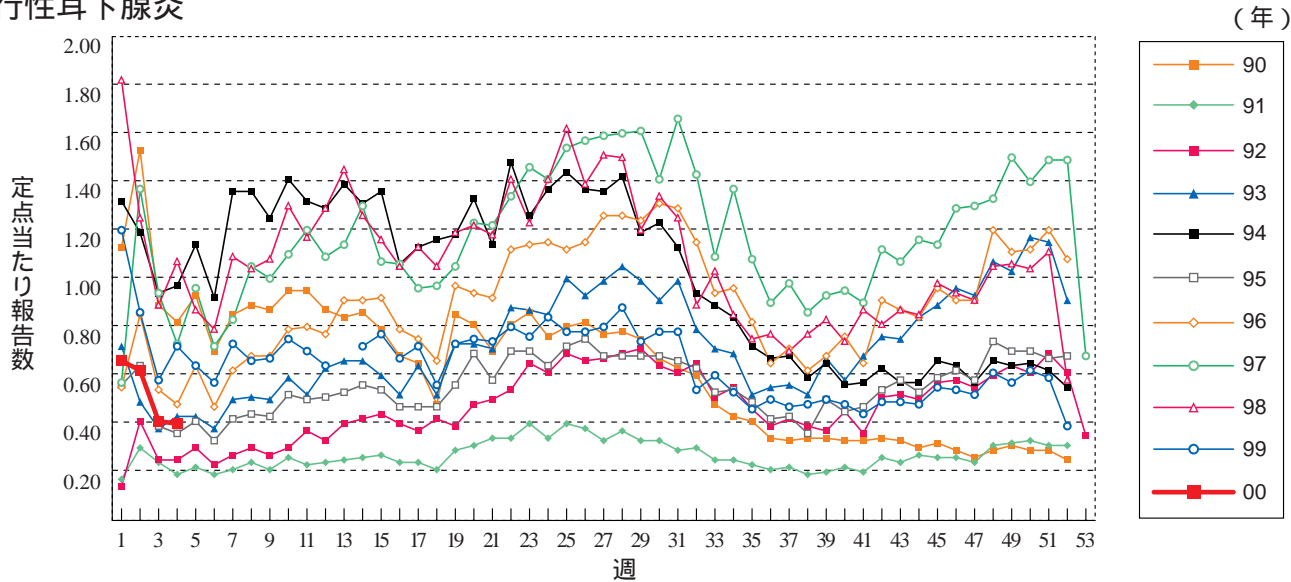
ヘルパンギーナ



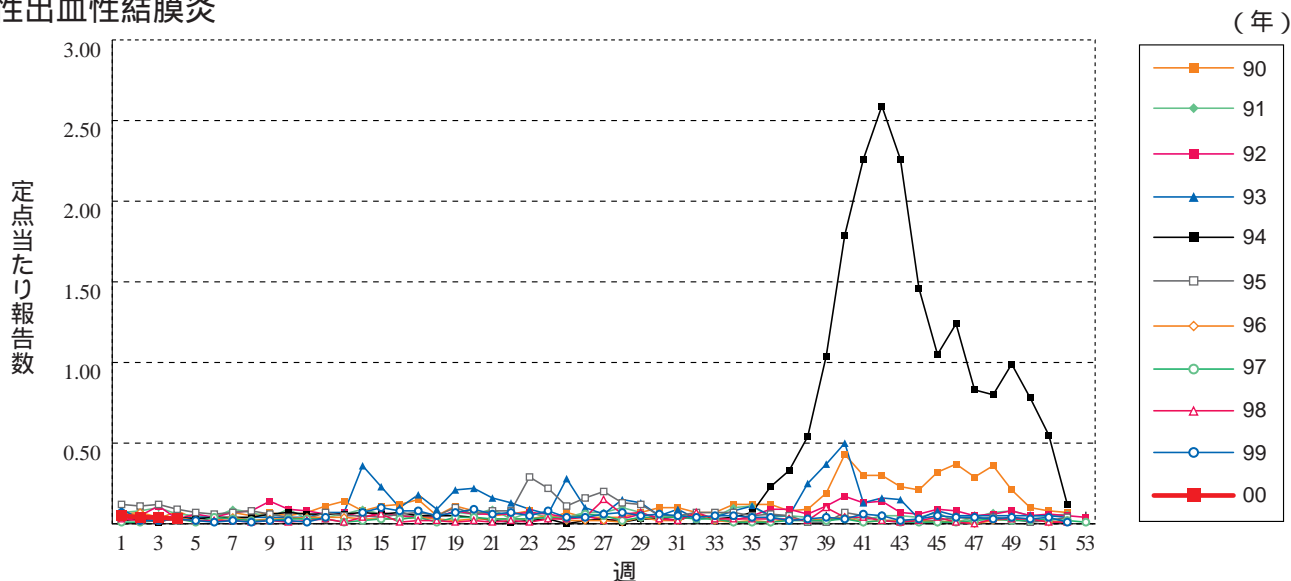
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



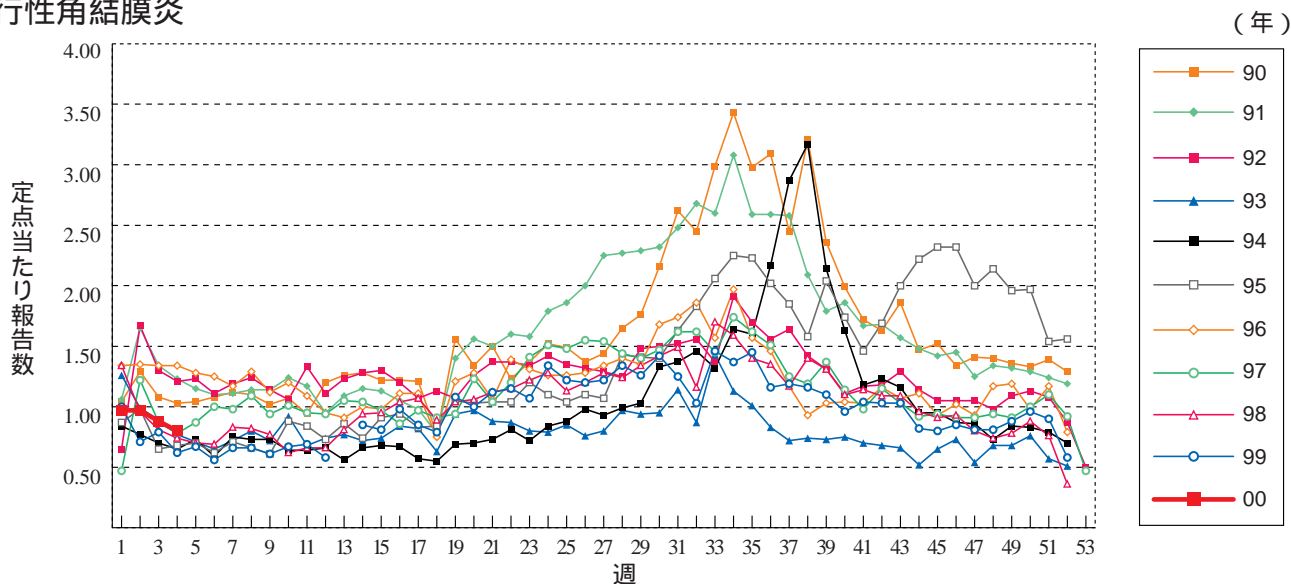
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

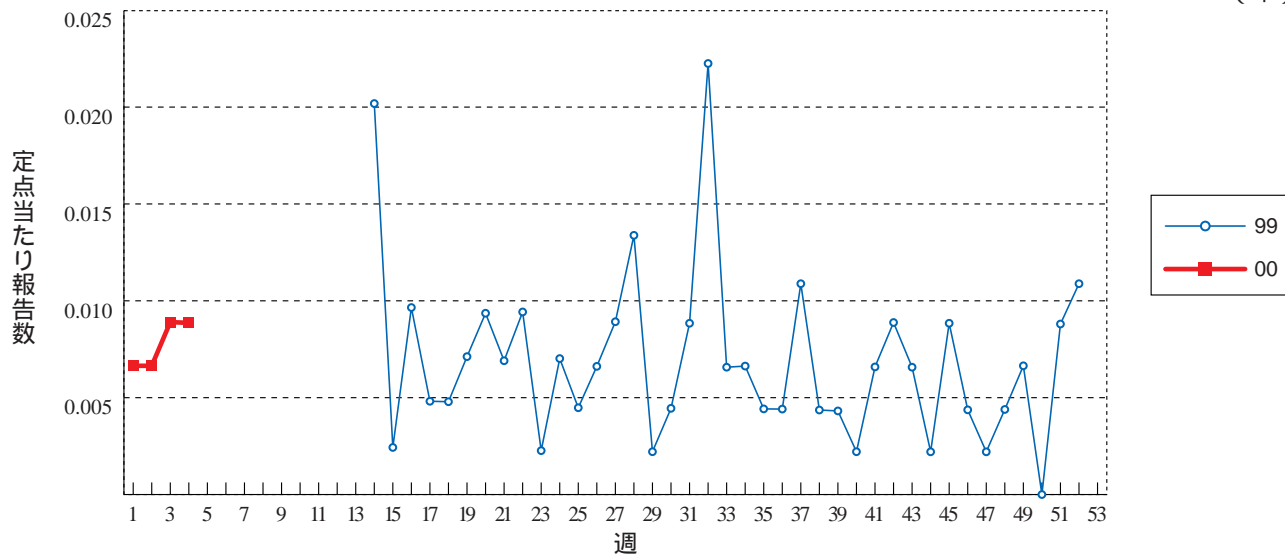


流行性角結膜炎



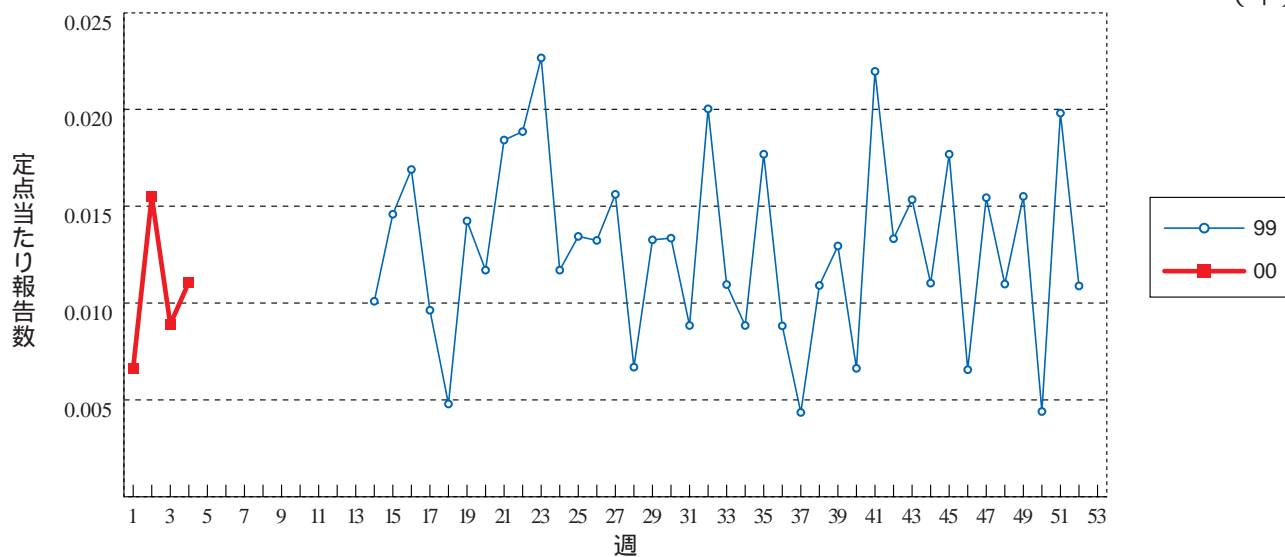
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



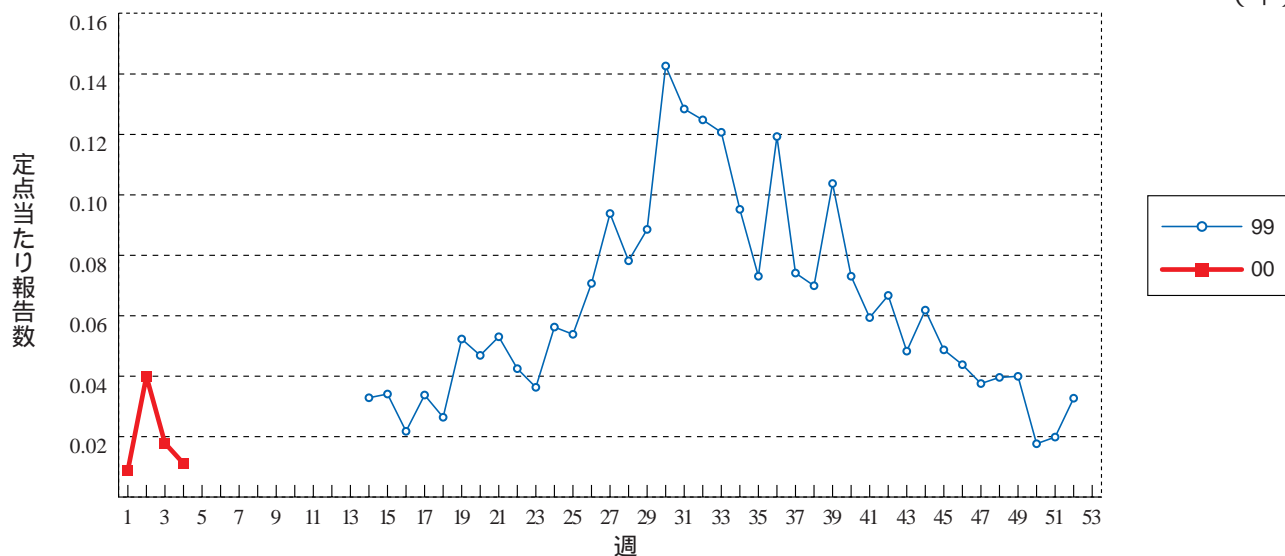
細菌性髄膜炎

(年)



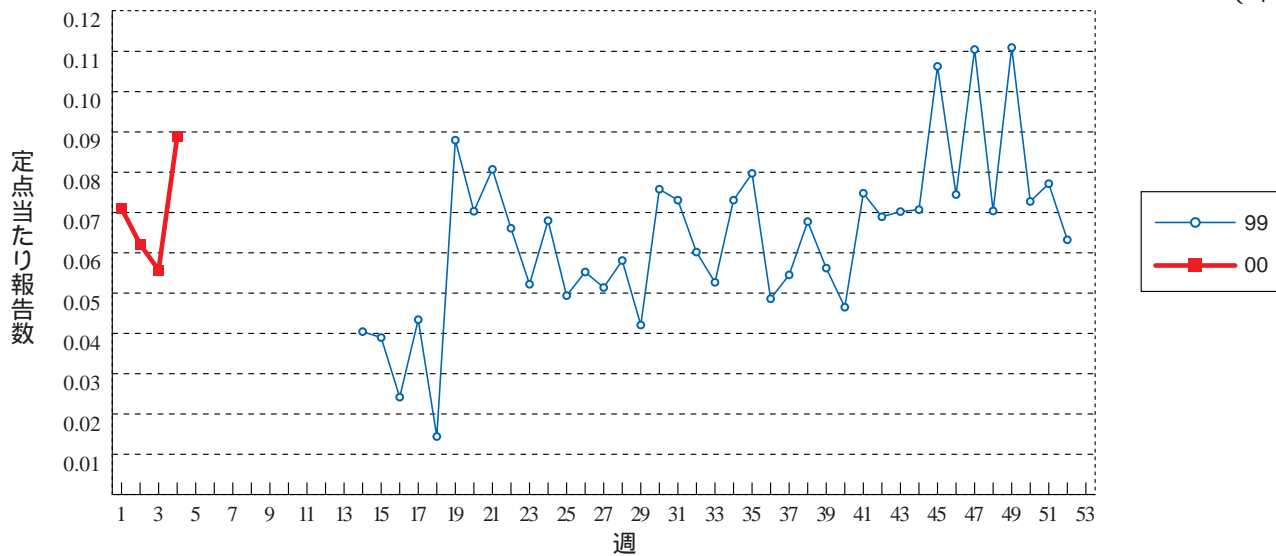
無菌性髄膜炎

(年)



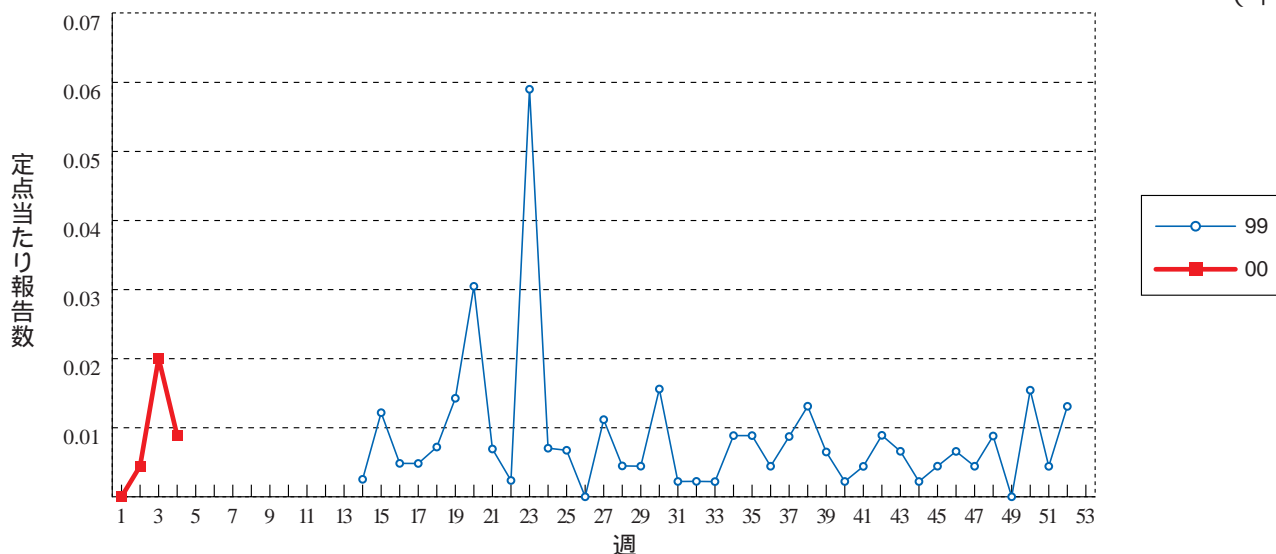
マイコプラズマ肺炎

(年)



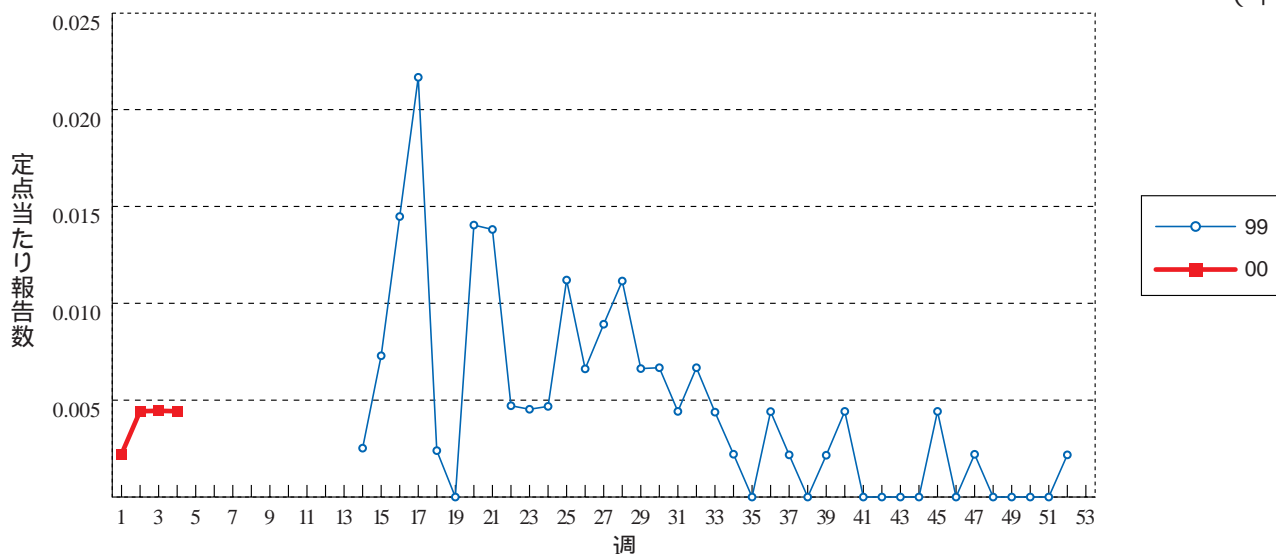
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





4週 of データ

注) 表中の報告数は2月4日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年4週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		バスタ		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	6	44	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年4週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	16	49	2	20	-	-	-	-	-	1	-	-	13	89
北海道	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮城県	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	1	5	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
神奈川県	-	-	-	-	1	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	1	4	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
兵庫県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
和歌山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12
香川県	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
高知県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年4週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	6	-	1	3	26	-	-	2	5	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2	3	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年4週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	36	-	-	-	-	-	-	-	-	8	47
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5
徳島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年4週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	2	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年4週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	155932	34.49	95	0.03	2917	1.00	23157	7.93	5995	2.05	294	0.10	683	0.23	2182	0.75	42	0.01
北海道	2891	12.68	3	0.02	169	1.17	484	3.36	256	1.78	1	0.01	64	0.44	94	0.65	-	-
青森県	2620	40.94	1	0.02	32	0.78	168	4.10	60	1.46	2	0.05	16	0.39	25	0.61	1	0.02
岩手県	1774	28.61	-	-	32	0.84	153	4.03	82	2.16	1	0.03	6	0.16	30	0.79	-	-
宮城県	2500	25.77	-	-	99	1.68	1439	24.39	166	2.81	1	0.02	23	0.39	45	0.76	-	-
秋田県	2428	44.96	-	-	64	1.88	389	11.44	44	1.29	1	0.03	9	0.26	33	0.97	-	-
山形県	2854	59.46	-	-	62	2.07	428	14.27	73	2.43	1	0.03	4	0.13	35	1.17	-	-
福島県	2791	34.89	-	-	42	0.88	470	9.79	107	2.23	7	0.15	35	0.73	33	0.69	-	-
茨城県	2508	23.01	1	0.01	77	1.07	582	8.08	113	1.57	7	0.10	7	0.10	34	0.47	-	-
栃木県	1635	24.40	-	-	44	1.00	303	6.89	79	1.80	1	0.02	1	0.02	29	0.66	-	-
群馬県	3424	34.24	-	-	91	1.47	340	5.48	106	1.71	6	0.10	13	0.21	62	1.00	2	0.03
埼玉県	7645	42.95	11	0.10	161	1.44	1125	10.04	206	1.84	4	0.04	21	0.19	96	0.86	2	0.02
千葉県	6580	31.33	7	0.05	202	1.51	1183	8.83	288	2.15	15	0.11	56	0.42	96	0.72	3	0.02
東京都	3864	21.71	7	0.05	67	0.47	926	6.52	143	1.01	3	0.02	30	0.21	63	0.44	-	-
神奈川県	11025	32.91	11	0.05	199	0.97	1476	7.17	367	1.78	22	0.11	91	0.44	177	0.86	2	0.01
新潟県	4806	48.55	-	-	93	1.55	671	11.18	173	2.88	1	0.02	25	0.42	38	0.63	2	0.03
富山県	2961	61.69	1	0.03	36	1.24	149	5.14	76	2.62	-	-	1	0.03	20	0.69	-	-
石川県	2677	55.77	-	-	28	0.97	307	10.59	94	3.24	-	-	-	-	12	0.41	-	-
福井県	2244	70.13	1	0.05	26	1.18	281	12.77	58	2.64	1	0.05	-	-	18	0.82	-	-
山梨県	1090	27.25	-	-	18	0.75	174	7.25	26	1.08	1	0.04	-	-	9	0.38	-	-
長野県	3513	43.37	-	-	48	0.92	565	10.87	100	1.92	10	0.19	43	0.83	48	0.92	-	-
岐阜県	2851	44.55	4	0.10	38	0.93	186	4.54	68	1.66	-	-	5	0.12	22	0.54	-	-
静岡県	4965	36.24	-	-	93	1.08	1027	11.94	304	3.53	2	0.02	6	0.07	71	0.83	6	0.07
愛知県	7275	37.69	5	0.03	139	0.76	1146	6.30	335	1.84	1	0.01	24	0.13	100	0.55	3	0.02
三重県	4319	59.16	5	0.11	56	1.24	462	10.27	116	2.58	-	-	3	0.07	46	1.02	-	-
滋賀県	1906	37.37	-	-	23	0.79	83	2.86	26	0.90	9	0.31	-	-	13	0.45	1	0.03
京都府	3916	32.91	-	-	35	0.49	485	6.74	91	1.26	4	0.06	16	0.22	40	0.56	-	-
大阪府	4880	18.56	4	0.02	99	0.54	811	4.43	240	1.31	15	0.08	10	0.05	141	0.77	5	0.03
兵庫県	7213	36.43	5	0.04	107	0.84	1075	8.40	293	2.29	4	0.03	11	0.09	107	0.84	8	0.06
奈良県	1479	26.89	1	0.03	20	0.57	236	6.74	70	2.00	5	0.14	3	0.09	35	1.00	-	-
和歌山県	2912	57.10	-	-	20	0.63	233	7.28	78	2.44	-	-	5	0.16	26	0.81	-	-
鳥取県	1188	40.97	-	-	89	4.68	264	13.89	49	2.58	-	-	3	0.16	22	1.16	-	-
島根県	1269	33.39	2	0.09	25	1.09	161	7.00	39	1.70	-	-	1	0.04	17	0.74	-	-
岡山県	3249	39.62	3	0.06	30	0.56	338	6.26	110	2.04	2	0.04	14	0.26	29	0.54	-	-
広島県	5089	42.76	4	0.05	41	0.55	510	6.80	107	1.43	6	0.08	7	0.09	36	0.48	-	-
山口県	2746	39.23	3	0.06	48	0.98	465	9.49	91	1.86	2	0.04	9	0.18	48	0.98	1	0.02
徳島県	1145	30.13	-	-	8	0.35	185	8.04	34	1.48	-	-	1	0.04	19	0.83	-	-
香川県	1024	20.08	2	0.06	28	0.88	274	8.56	103	3.22	2	0.06	1	0.03	14	0.44	-	-
愛媛県	3785	59.14	3	0.08	41	1.05	348	8.92	97	2.49	2	0.05	6	0.15	54	1.38	-	-
高知県	1852	37.80	-	-	21	0.68	152	4.90	39	1.26	3	0.10	5	0.16	18	0.58	-	-
福岡県	6298	40.37	-	-	78	1.00	815	10.45	207	2.65	24	0.31	37	0.47	73	0.94	3	0.04
佐賀県	1151	29.51	-	-	26	1.13	228	9.91	96	4.17	5	0.22	1	0.04	21	0.91	-	-
長崎県	1568	22.40	-	-	30	0.68	227	5.16	80	1.82	4	0.09	2	0.05	30	0.68	-	-
熊本県	2740	33.83	4	0.08	26	0.53	418	8.53	164	3.35	23	0.47	5	0.10	57	1.16	-	-
大分県	2416	41.66	1	0.03	61	1.69	391	10.86	96	2.67	44	1.22	38	1.06	42	1.17	2	0.06
宮崎県	1719	28.65	6	0.16	79	2.14	554	14.97	188	5.08	2	0.05	13	0.35	51	1.38	1	0.03
鹿児島県	2595	26.75	-	-	57	0.97	444	7.53	155	2.63	13	0.22	11	0.19	43	0.73	-	-
沖縄県	2552	44.00	-	-	9	0.26	26	0.76	102	3.00	37	1.09	1	0.03	10	0.29	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年4週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	43	0.01	68	0.02	230	0.08	1179	0.40	18	0.03	493	0.80	4	0.01	5	0.01	5	0.01
北海道	3	0.02	1	0.01	-	-	91	0.63	-	-	23	0.79	-	-	1	0.04	-	-
青森県	-	-	4	0.10	1	0.02	29	0.71	-	-	7	0.64	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	2	0.05	7	0.18	8	0.21	2	0.17	8	0.67	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	3	0.05	3	0.05	3	0.05	-	-	2	0.18	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	12	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	6	0.75	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	9	0.19	5	0.10	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
茨城県	6	0.08	1	0.01	13	0.18	10	0.14	-	-	28	1.75	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.02	1	0.02	15	0.34	4	0.09	-	-	11	0.92	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	1	0.02	-	-	37	0.60	1	0.07	23	1.64	1	0.10	-	-	-	-
埼玉県	2	0.02	6	0.05	5	0.04	51	0.46	-	-	29	1.12	-	-	-	-	-	-
千葉県	9	0.07	1	0.01	34	0.25	54	0.40	-	-	21	0.60	-	-	-	-	-	-
東京都	4	0.03	11	0.08	3	0.02	36	0.25	1	0.07	13	0.93	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	5	0.02	4	0.02	23	0.11	87	0.42	1	0.02	43	1.02	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	1	0.02	1	0.02	34	0.57	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20
石川県	-	-	-	-	1	0.03	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	-	-	-	-	20	0.38	3	0.30	18	1.80	1	0.09	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	1	0.02	10	0.24	4	0.10	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	2	0.02	4	0.05	95	1.10	-	-	12	0.60	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	4	0.02	6	0.03	62	0.34	-	-	14	0.40	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	1	0.02	-	-	18	0.40	-	-	5	0.42	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	5	0.17	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	2	0.03	-	-	2	0.03	25	0.35	-	-	4	0.24	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	1	0.01	29	0.16	42	0.23	1	0.02	19	0.38	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	0.01	1	0.01	10	0.08	71	0.55	-	-	20	0.57	-	-	1	0.07	1	0.07
奈良県	-	-	-	-	-	-	22	0.63	1	0.11	15	1.67	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	7	0.22	10	0.31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	13	0.68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	16	0.70	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	1	0.02	-	-	-	-	18	0.33	-	-	13	1.08	-	-	-	-	1	0.20
広島県	-	-	-	-	2	0.03	36	0.48	-	-	36	1.80	-	-	-	-	-	-
山口県	1	0.02	-	-	-	-	84	1.71	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
香川県	1	0.03	2	0.06	41	1.28	7	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	4	0.10	-	-	12	1.71	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	1	0.03	14	0.45	2	0.67	4	1.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	5	0.06	2	0.03	43	0.55	-	-	21	1.17	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	7	0.30	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	10	0.23	5	0.63	6	0.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	2	0.04	5	0.10	-	-	26	0.53	-	-	14	1.56	1	0.07	1	0.07	-	-
大分県	-	-	4	0.11	-	-	4	0.11	-	-	3	0.60	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	2	0.05	-	-	31	0.84	-	-	7	1.75	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	1	0.02	15	0.25	1	0.17	6	1.00	-	-	1	0.08	-	-
沖縄県	1	0.03	-	-	-	-	4	0.12	-	-	9	0.90	-	-	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年4週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	40	0.09	4	0.01	2	0.00
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	10	0.83	3	0.25	-	-
秋田県	1	0.17	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	-	-	-	-
千葉県	2	0.22	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.09	-	-	-	-
新潟県	4	0.31	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	2	0.40
福井県	1	0.17	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	4	0.80	1	0.20	-	-
広島県	3	0.14	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.17	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	3	0.20	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第4号 平成12年2月14日発行
発行：国立感染症研究所

厚生省保健医療局結核感染症課
厚生省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
TEL：03-5285-1111
FAX：03-5285-1129

URL：http://idsc.nih.go.jp/index-j.html

<国立感染症研究所 感染症情報センター>
http://www.mhw.go.jp/
<厚生省>
http://www.narita-airport.or.jp/quarantine/
<成田空港検疫所>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。